

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-03-01-04
事務事業名	観光施設維持管理事業		
		根拠法令・要綱等	
事業開始年度	S46~		
大項目 基本目標	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
中項目 基本施策	個性あふれる観光のまちづくり		
小項目 施策	観光		
総合計画	問合せ先	担当課(室)	商工観光課
	職・氏名	観光係長 山台 智子	
	電話	64-1832(274)	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	観光客
目的(何のために)	市内の観光施設を管理する
行政活動(どのような方法で)	備前地区一閑谷学校駐車場等管理、伊部駅南ふるさと交流センター管理運営、大滝山上水道管理組合負担事業、日生地区一閑防護網設置、楯越山管理、観光トイレ等管理、古代体験の郷まほろば、観光情報センター、ふれあいの館かざまち、ふれあい交流館しおまち、郷土料理館もやい茶屋の管理運営 吉永地区一八塔寺山荘、大池緑地公園管理運営、和意谷、八塔寺ふるさと村等、ダム公園等管理
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	利用者数の増を図る

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	管理施設数(委託)	施設	12	12	12
	管理施設数(直営)	施設	1	1	1
	利用者数	人	210,104	199,496	226,388
事業費	直接事業費	千円	68,283	60,617	30,491
	人件費	千円	8,456	10,977	6,644
財源	事業費計		76,739	71,594	37,135
	国県支出金		3,584	3,584	3,584
	受益者負担	千円	2,115	1,000	1,045
	一般財源		71,040	67,010	32,506
	必要人員	人	1.86	1.24	0.94
結果指標	利用者数	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	結果指標量	人	210,104	199,496	226,388
	対前年比	%	-	95.0%	113.5%
	活動コスト	円	76,739,000	71,594,000	37,135,000
	単位当たりコスト	円	365	359	164

事業の成果			
成果指標名	1施設利用者数	式又は説明	利用者数 / 管理施設数(13)
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	16,162	15,346	17,414
対前年比		94.95%	113.48%
到達目標値	18,000	到達目標年度	毎年

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	観光施設は、観光推進をするにあたっては必要不可欠な施設である。	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	観光施設は、観光推進をするにあたっては必要不可欠な施設である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	観光施設は、観光推進をするにあたっては必要不可欠な施設である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	観光施設は、観光推進をするにあたっては必要不可欠な施設である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	効率性評価<A~E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
手	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難	受託団体が適正な管理を行っているが確認する。	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
職	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	受託団体が適正な管理を行っているが確認する。	
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A~E>	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	C	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	課題認識	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	観光施設は、観光振興において欠くことのできない施設であり、観光客のおもてなしの環境づくりが必要である。	
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	観光施設は、観光振興において欠くことのできない施設であり、観光客のおもてなしの環境づくりが必要である。	
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	観光施設は、観光振興において欠くことのできない施設であり、観光客のおもてなしの環境づくりが必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	観光施設は、観光振興において欠くことのできない施設であり、観光客のおもてなしの環境づくりが必要である。	

平成20年度の状況		説明	費用対効果を考慮しつつ、施設の維持管理に勤める必要がある。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 230,000	結果指標量	
成果指標量		結果指標量	18,000

総合評価		評価区分<A~E>	C
観光施設の適正な管理は、観光推進の上で重要なことである。費用対効果による効率的管理を行うとともに、観光客の満足度も考慮しながら管理する必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	受託団体の効率的な運営を指導する。	随時	効率的な財政支出